

**原子力システム研究開発事業  
中間評価総合所見**

<p>研究課題名：柔軟性の高いMA回収・核変換技術の開発          代表研究者（研究機関名）：飯塚 政利（電力中央研究所）          再委託先研究責任者（研究機関名）：野平 俊之（京都大学）          再委託先研究責任者（研究機関名）：小藤 博英（日本原子力研究開発機構）          研究期間：平成28年度～平成31年度（4年計画）</p>			
項目	要 約		
1. 研究の概要	<p>高速炉燃料サイクルに金属燃料－乾式再処理技術を取り込むことにより、幅広い高速炉導入シナリオやプルトニウム（Pu）需給シナリオに柔軟に対応しつつ、軽水炉使用済燃料からPuとマイナーアクチニド（MA）を回収して高速炉で核変換させることによる廃棄物有害度低減の効果を最大化することが可能なMA回収・核変換システムを構築することを研究開発目標として、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 金属燃料及び炉心開発</li> <li>2) 乾式再処理技術開発</li> <li>3) MA回収・核変換シナリオとPu/MA収支の検討</li> </ol>		
2. 総合評価	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 10%; background-color: #cccccc;"><b>A</b></td> <td> <p>高濃度MA含有金属燃料を装荷したMOX燃料高速炉と乾式再処理の装置、処理プロセス等の技術を統合した核燃料サイクルシナリオの検討が幅広く検討されており、柔軟性を持ったMA回収・核変換システムの構築に期待ができる。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている            A) 優れた成果があげられている            B) 一部を除き、相応の成果があげられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんどあげられていない</p> </td> </tr> </table>	<b>A</b>	<p>高濃度MA含有金属燃料を装荷したMOX燃料高速炉と乾式再処理の装置、処理プロセス等の技術を統合した核燃料サイクルシナリオの検討が幅広く検討されており、柔軟性を持ったMA回収・核変換システムの構築に期待ができる。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている            A) 優れた成果があげられている            B) 一部を除き、相応の成果があげられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんどあげられていない</p>
<b>A</b>	<p>高濃度MA含有金属燃料を装荷したMOX燃料高速炉と乾式再処理の装置、処理プロセス等の技術を統合した核燃料サイクルシナリオの検討が幅広く検討されており、柔軟性を持ったMA回収・核変換システムの構築に期待ができる。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている            A) 優れた成果があげられている            B) 一部を除き、相応の成果があげられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんどあげられていない</p>		